

# 学生の時にハマった!



読書の季節、秋がやってきました! 今年も読書週間特別企画として、篠崎図書館全スタッフが本を紹介。今回のテーマは「学生の時にハマった!」。篠崎図書館スタッフが学生時代にハマった本を紹介いたします。

学籍番号〇〇〇

## ハマった時代

表紙

『書名』  
著者名  
出版社  
請求記号  
所蔵館

本にまつわる  
エピソード

## 本の内容紹介

学籍番号001

## 小学生時代



『奇巖城』  
ルパン原作  
南洋一郎著  
ポプラ文庫  
B953ル  
篠崎ほか所蔵

ルパン、少年探偵イジドール、ホームズがフランス王家の謎に迫る。謎解きのみならず、ロマンスや、ルパンとホームズとの対決など、サービス精神にあふれる作品。

ルパンと出会ったのは小学校5年生の時。富豪からは颯爽と盗み、弱者・貧しい者に優しく、怪盗でありながら紳士、そんなルパンにすぐに夢中になりました。以来「放課後は図書室でルパン」が習慣になりました。

学籍番号002

## 中学生時代



『特別料理』  
(「特別料理」所収)  
スタンライ・エリン著  
早川書房  
933エ  
篠崎ほか所蔵

そのレストランの料理は、全てたどえようもなく美味だった。おまけにごく稀にしか出ない特別料理もあるという。その日が来るのを待ち焦がれながら通い続ける……。

当時この手の話に免疫のなかった私は、作品全体に漂う薄気味悪さに魅了され、その結末に驚愕すると同時に、その後の読書傾向を決定づけられました。

学籍番号002

## 高校生時代



『コーヒーを待ちわびて』  
原田 マハ著  
宝島社  
Fハ  
中央ほか所蔵

旅先の神社で、「嫁に来ないか。」と絵馬に書いた明青。後日、明青のもとに絵馬を見て来たという女性がやってきて……。

沖縄の美しい景色とゆったりとした雰囲気とぴったり合う恋愛小説。映画にもなり、もちろん映画館まで見に行きました。作品中に出てくる「コーヒー、アラシミソーリ。」という言葉が大好きで、当時の私は何かとこの言葉を使っていました。

学籍番号006

## 高校生時代



『チェーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷』  
塩野 七生著  
新潮文庫  
B289.3ホ  
中央所蔵

ルネサンス期。イタリア統一の野望を胸に、群立する都市国家を次々と征服した、チェーザレ・ボルジアの一生を鮮やかに描く。

人は悪いものに惹かれるともいいますが、特にそういうお年頃だったのか、時に残酷とも評されるチェーザレの物語に胸をときめかせました。お気に入りのマキャヴェッリとの会談の場面を一人で朗読していた、という恥ずかしい思い出もあります。

学籍番号002

## 小学生時代



『三国志』  
1~8  
吉川 英治著  
講談社  
BFヨ1-8  
篠崎ほか所蔵

みなさまご存知の三国志。吉川英治が有名だが、もちろん初めては横山光輝マンガからでも。お好きな方は三国志演義もどうぞ。

初めて買ってもらった「マンガ以外の本」が小学3年生くらい時の吉川三国志。全8巻・約5000円の「小説」を買うという事が、とても大人な気がした。英雄たちが時代を作っていく物語の魅力は、少年時代を経て現在も全く色褪せない。

学籍番号003

## 中学生時代



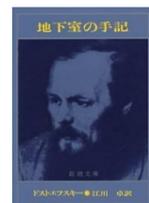
『スヌーピー全集』  
1~10  
Charles M. Schulz著  
復刊ドットコム  
726シ1-10  
篠崎所蔵

日本語ふきだし+英語の原文で谷川俊太郎の名訳を楽しめる。彼等は私達にユーモアたっぷりに生きる知恵を教えてください。

私のスヌーピーと仲間達との出会いは、テレビと新聞の連載でした。いつも楽しみにしていました。その後、本が出版されました。知らない単語も多かったのですが、自分なりに和訳したりしました。子供ながらに可愛いだけの子供向けの本ではないと思いました。

学籍番号004

## 高校生時代



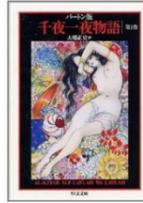
『地下室の手記』  
ドストエフスキー著  
新潮文庫  
B983ト  
篠崎所蔵

家の地下に籠もった小官吏が、「苦痛は快楽である」ことを足がかりに、人間の非合理性を日記に書き綴っていく。

「歯痛にだって快楽はあるさ」という小官吏の言葉から、一気に小説の世界に引き込まれ、周囲の音が聞こえなくなりました。世の中にはこんな考え方もあるのかと驚きつつも、大いに納得。気がつけば降りる駅を通り過ぎていました。

学籍番号002

## 大学生時代



『千夜一夜物語 パートン版』  
1~11  
大場 正史訳  
ちくま文庫  
B929セ1-11  
篠崎ほか所蔵

王妃の裏切りにより女性不信に陥った王様。その心を溶かすべく、夜毎に語られる様々な物語。世界一有名なファンタジー。

この本の魅力は豪華絢爛な世界と容姿端麗な登場人物。子供の頃から気にはなったものの初めて読んだのは短大時代。読み切れず数年後に再読。本によって内容が違うことを知り、それも魅力に。その違いを比較したいと思っていますが、いつになることやら……。

学籍番号001

## 中学生時代



『オーデューボンの祈り』  
伊坂 幸太郎著  
新潮文庫  
BFイ  
篠崎ほか所蔵

伊藤は未来が見えるカカシと出会うが、次の日カカシは殺されてしまう。未来が見えるはずのカカシはなぜ死んでしまったのだろうか。

初めて読んだ伊坂幸太郎作品。作品中に張られた伏線が最後一つに結びつく結末に、当時まだ様々なジャンルの本を読んでいた私は、大変興奮した記憶があります。ミステリー小説を好きになるきっかけとなった本です。

学籍番号001

## 高校生時代



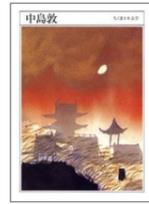
『水滸伝』  
1~8  
施耐庵著  
ちくま文庫  
B923シ1-8  
篠崎ほか所蔵

中国北宋末期、悪徳官僚や不正がはびこる世の中。梁山泊に集まった108人の好漢たちが、腐敗した国を救うべく悪と闘う物語。

中国古典にハマっていた高校時代。特に水滸伝が大好きでした。梁山泊の好漢達が縦横無尽に活躍する物語にワクワクし、関連本を漁りました。また、好漢のようになればモテると思い、自分のあだ名(ちなみに氣勢竜)を考えたり、体を鍛えたりした中二病な高校時代でした。

学籍番号005

## 高校生時代



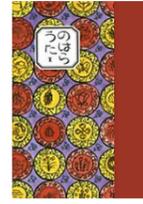
『山月記』  
(「中島敦」所収)  
中島 敦著  
筑摩書房  
BFナ  
篠崎ほか所蔵

河南省の役人袁俊は、人食い虎が出ると噂の山中を急ぎのために強行していた。一行の目の前にやはり一匹の虎が躍り出るが……。

初めて読んだのは高校の教科書でした。作中の難解な単語に面食らい、辞書を引き引き苦労して読んだことを覚えています。虎になった男・李徴の哀しみと業の深さ。何度も読んで辞書の要らなくなった今でも、その慟哭に胸を打たれます。

学籍番号003

## 大学生時代



『のはらうた』  
1~5  
くどうなおことのはらみんな著  
童話屋  
911ク1-5  
中央ほか所蔵

のはらにいる動物、植物や、のはらを渡る風、雲、あるいは月などが一遍ずつ詩を書いています。

学生時代、ほのぼのしたい時に読んでいました。日々の雑事に追われていたり、いろいろな思い悩んでいた時に、とても暖かく、優しい気持ちになれ、周りに目を向ける機会を与えてくれた本でした。